

あれこれ

平成25年度地域・世代を超えた体験学習事業

OOTIS

あれこれ体験

# in 片浦



## ふいかえいの書

食す みんなと



学校を超え  
地域を超え  
出会う仲間

旧片浦中学校  
にぎわい、甦る

Otagawa Outfitters  
Training School  
OOTIS  
since 2010

# 夏休み とっておきの

冒険いっぱい!!  
おもいでいっぱい!!



大自然に溶け込む  
テント泊

子どもと指導者  
世代を超えて  
触れ合う

3日間  
友と過ごす  
仲間と過ごす

指導者  
おたわら自然楽校の



地域・世代を超えた体験学習事業「あれこれ体験 in 片浦」日程表

時間	1日目	2日目	3日目	時間						
6:00		テント泊	テント泊	6:00						
6:30				6:30						
7:00		朝のつどい	朝のつどい	7:00						
7:30		朝食 【バーナーとコッフェルで調理、わかめうどん】	朝食 【ひと工夫でアツアツ、カートンドッグ】	7:30						
8:00	集合(小田原駅)			8:00						
8:30	移動(JR)			8:30						
9:00	到着・準備	オリエンテーション ウォークラリー編	掃除	9:00						
9:30	開会式(旧片浦中)	体験型ウォークラリー	ふりかえり 新聞づくり・発表 集合写真撮影	9:30						
10:00	アイスブレイク (足柄グリーンサービス) (おだわら自然楽校)			シノーケリング コース	乗馬 コース	マスのつかみ取り コース	ヒルトンサービング コース	10:00		
10:30				旧片浦中学校	旧片浦中学校	旧片浦中学校	旧片浦中学校	10:30		
11:00				徒歩にて移動	車にて移動	徒歩にて移動	徒歩にて移動	11:00		
11:30				なみのこ村着	サドルバック着	白糸マス釣りセンター着	お山のたいしょう着	11:30		
12:00	昼食 【持参弁当】			昼食 【バーベキュー】	昼食 【流しラーメン】	＜マスのつかみ取り＞ 川遊び 昼食 【バーベキュー】	＜こんやく作り＞ 昼食 【バーベキュー】	12:00		
12:30	オリエンテーション コンポスト編			徒歩にて移動	徒歩にて移動	徒歩にて移動	徒歩にて移動	12:30		
13:00	オリエンテーション テント編			ダイビングセンター着	＜乗馬体験＞ 放牧 草むしり 農作業 馬房清掃 馬の世話 乗馬	白糸マス釣りセンター 車にて移動 広石農園着	お山のたいしょう 徒歩にて移動	13:00		
13:30	グループビルディング (足柄グリーンサービス) (おだわら自然楽校)			＜シノーケル体験＞	＜フルベリ体験＞	＜ジャム作り体験＞	お山のたいしょう 徒歩にて移動	13:30		
14:00								ダイビングセンター	サドルバック	お山のたいしょう
14:30		徒歩にて移動	車にて移動					徒歩にて移動	入浴 研修準備	14:30
15:00		根府川駅	サドルバック					お山のたいしょう	＜就業研修＞	15:00
15:30	シャトルバスにて移動	車にて移動	徒歩にて移動	徒歩にて移動	徒歩にて移動	15:30				
16:00	ヒルトン着	ヒルトン着	ヒルトン着	ヒルトン着	ヒルトン着	16:00				
16:30	班長会議・つどい係会議・テント長会議	入浴 自由時間	入浴 自由時間	入浴 自由時間	夕食 【ヒルトンディナー】	16:30				
17:00	自由時間					夕食 自由時間	夕食 自由時間	夕食 【ヒルトンディナー】	17:00	
17:30									夕食 【ヒルトンディナー】	夕食 【ヒルトンディナー】
18:00	夕食 【ぶた丼・たっぷり野菜のポトフ】	夕食 【ヒルトンディナー】	夕食 【ヒルトンディナー】	夕食 【ヒルトンディナー】	夕食 【ヒルトンディナー】	18:00				
18:30	夜のプログラム I キャンプファイヤー編					ヒルトン	ヒルトン	ヒルトン	＜サービング体験＞	18:30
19:00										ヒルトン
19:30	ふりかえり	ヒルトン	ヒルトン	ヒルトン	ヒルトン	19:30				
20:00		シャトルバスにて移動	シャトルバスにて移動	シャトルバスにて移動	シャトルバスにて移動	根府川駅				
20:30		旧片浦中学校着	旧片浦中学校着	旧片浦中学校着	旧片浦中学校着	旧片浦中学校着				
21:00	夜のプログラム II 水浴び編	夜のプログラム III たき火編				21:00				
21:30	就寝準備・消灯・テント泊	就寝準備・消灯・テント泊				21:30				
22:00						22:00				



# CONTENTS

Vol.04 Summer '13  
Happy Summer in Kataura Odawara

あれこれ体験 in 片浦

0 2 であい → はじまり  
1 日目 出会う

0 4 とっておきの体験型ウォークラリー  
2 日目 初めての…

0 8 3日間過ごしたぼくたちの  
“Happy”フィールド

1 0 おもいであれこれ  
3 日目 ふりかえる

1 2 あれもこれもいっぱいやったよ  
あれこれ “Happy”

1 4 集合写真

1 5 参加者の声・指導者との思い出

1 6 保護者の声

1 7 おでかけMAP

## 表紙

旧片浦中学校グラウンド

仲間と過ごした特設のテント村。  
よりダイナミックに より自然  
にと 今年も27張りのテントと  
4つのタープを使用しました。

わくわく ドキドキ みんなの“Happy”を盛り上げます。  
なぜか今年は集中豪雨に何度も…、あれもこれもみんな思い出。



## ●Special Thanks

photo 協力 ぶーさん

## はじめに

「あれこれ体験 in 片浦」にご参加くださった皆さん、お元気ですか？皆さんと過ごした三日間を「ふりかえりの書」としてまとめました。一緒に過ごした時間や体験したことがたくさん詰まったこの冊子を手にして、皆さんはどんなことを思い出すでしょうか。楽しかったことや嬉しかったこと、協力したこと、辛かったこと、がんばったこと、たくさんのことが甦ってくることでしょう。初日の小田原駅、初めて会う「仲間」と顔を合わせ、不安そうな表情を浮かべたかもしれません。でも3日目、小田原駅で「仲間」と別れるときは、みんな笑顔でもっと一緒に冒険したいと思ったのではないのでしょうか。出会いは『一期一会』とよく言われますが、この3日間を一緒に過ごした「仲間」とは、見えない強くて固い力で結ばれています。将来、再びどこかで「仲間」と出会った時には、この『ふりかえりの書』を見ながら思い出話に花を咲かせてください。



平成 26 年 3 月

地域・世代を超えた体験学習実行委員会  
実行委員長 長谷川 英樹 (ハセ)



たくさん坂道を上ったから、いつもより空が近くに見えるね。

この日が来るまでわくわくドキドキ、やっと迎えた今日この時。小田原駅に集合して、「大丈夫だよ！」なんて強がってみたけど、やっぱりちよつと不安…。電車に乗って、根府川駅からぼくたちのフィールドへ、重たい荷物を持って急な坂道を上ります。広い海に青い空、濃い緑に囲まれる廃校となった片浦中学校、とびきりの夏の3日のスタートです。

### 「あれこれ体験 in 片浦」 【概要】

趣 旨：小田原（片浦地域）の自然や資産、生業などを活用し、参加者（子ども）と指導者（大人）との世代を超えた交流を通し、子どもたちの創造力や自立心、豊かな人間性、生きる力を育むことを目的とする。

実施日：①平成25年7月26日（金）～28日（日）

②平成25年8月3日（土）～5日（月）

実施主体：主催）小田原市 主管）地域・世代を超えた体験学習実行委員会

場 所：旧片浦中学校、及び片浦地域

宿 泊：旧片浦中学校グラウンドにてテント泊

参加人数：①参加者（小学5・6年生） 38名

指導者（おだわら自然楽校）22名

②参加者（小学5・6年生） 37名

指導者（おだわら自然楽校）27名



10:00

緊張状態（アイス）をほぐす（ブレイク）ゲーム！

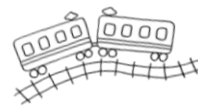
指導者の自己紹介も終わり、ここからはみんなで一緒にアイスブレイク。



08:24

根府川駅から旧片浦中学校へ！

小田原駅に集合したら、3日間一緒に活動する仲間と電車に乗って移動します。「ここはどこ？」「ここも小田原」。みんなまだまだ緊張した顔でどこちなく言葉数もあまり多くありません。



私たちがみんなの班の指導者です！！

開会式の一コマ。一緒に活動する指導者を決める抽選です。みんななどの指導者と班になるのか大注目です。



12:50

ごみを再利用、自然に優しい、段ボールコンポストって！？



日常生活で出る生ごみ。ただ捨てるだけのものではなく、肥料にもなります。この3日間の活動で出る生ごみは、特設のコンポストで全て堆肥化します。

09:20







今日は、どんなに  
楽しいことが待って  
いるんだろう！

慣れないテントでの就  
寝、楽しい仲間との夜。ド  
キドキしてあまりよく眠れ  
なかつたけど、海に輝く太  
陽が、眠気を全部吹き飛ば  
してくれました。こんなに  
きれいな朝日が小田原でも  
見ることができるとだ。

生まれ育ったぼくたちの  
故郷小田原。ここは、ぼく  
たちの暮らす同じ小田原だ  
けど、いつもの小田原とは  
少し違う。だってここは、  
「仲間」がいるぼくたちの  
フィールドだもん。



**data**  
お湯を沸かして、うどんと卵、油揚げを入れ、最後にわかめスープの素を加えて完成です。身近にある食材を使ってできるので、災害時などでも活用することができます。



## 07:30 自分の朝食、自分で作る！

コップェルとバーナーの使い方を指導者に教えてもらいながら、慣れない手つきでクッキング。自分で作ったうどんの味に朝から大満足。

## 09:20

班ごとに分かれて、荷物の準備ができたなら、いよいよ体験型ウォークラリーへ出発です。

『東洋のリビエラ』、それが片浦。体験の舞台は片浦地域へ！



## 06:40

### 朝のつどい みんなでラジオ体操



夜更けを過ぎてようやく寝静まったと思ったら、ザッザッザッザッとテントの外を歩く音…。みんなちゃんと寝たのかな？朝は体育館でつどい係さんを中心に『ラジオ体操』。あれ？いつものラジオ体操とはちょっと違うよ。「いっつう、ぬう、さん、すうっ♪」、東北弁バージョンのラジオ体操です。





### 【マスのつかみ取り体験

### &ブルーベリー摘み取り・ジャム作り体験】

「水、冷たいっ!」、「この岩の下!」、「そっち、そっち!」、「手伝って!」、夏の清らかな白糸川に元気な声が響きます。

生きた魚を前になかなか捕まえない子もいれば、川に潜って探す子も。捕まえたマスはその場で塩焼きにして、みんなで美味しく「いったきまーす!!」。生きとし生けるものを食す、これもまたあれこれ体験。

マスを食べたらお次はスイーツ。ブルーベリー畑で甘くて大きな実を味見しながら摘み取ります。たくさん取ったら、今度は摘みたての実を使ってジャム作り。甘いかどうか味見を…、甘すぎないか味見を…、焦げないように味見を…、そろそろ完成かと味見を…、お土産用の瓶に詰めるジャムが少なくなかないかい。

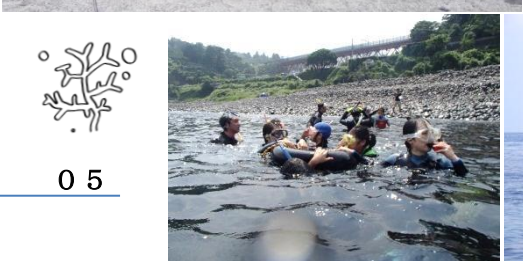


初めてのウェットスーツで初めてのシュノーケリング泳ぎが得意な子、苦手な子、みんなでもぐる海触れてみる海のいきものサカナいっぱいだよ!下まで潜れたよ!海もキラキラしてたけど一番キラキラしたのはみんなの笑顔だなー



### 【シュノーケリング体験】

片浦のチェックポイント、「寺山神社」「豆相人車鉄道」「根府川関所跡」「白糸川鉄橋」「釈迦堂」を抜け出ると、目の前に広がるのは相模湾。ウェットスーツに身を包み、波寄せる中を、勇気を出して一步一步と踏み出すと、そこは見たことのない、まるで空を飛んでいるかのような別世界。いっぱい飲んだ海の味も、あれこれ体験。



【乗馬体験】

たくさんさんの馬がこつち  
 を見てる。想像以上の大  
 きさにびっくり。小屋の  
 掃除にブラッシング。ビク  
 ビクしながら馬のお世話。  
 馬に乗るだけが体験じゃない。  
 馬と会話をする体験。心臓が  
 動く音を聞いて考えた。

「生きる」ってこと。

お昼ごはんは、お空の下で、  
 「流しそうめん」ならぬ『流しラーメン』。  
 「こんなに長い流しラーメン、すごい、初めて」。

ぎこちない箸使いにもすぐ慣れて、上手にすくってお腹いっぱい。  
 馬との信頼関係が築けたら、いよいよ最後は乗馬体験。

もう馬ともすっきりいい仲間！  
 乗っていない友だちに譲ったり、大きな馬ばかりに乗らないよ  
 うにと、譲り合いの心も生まれたね。



【こんにやく作り体験&サービング体験（就業体験）】

「水と芋の粉、重曹を使ってこんにやくを作ります。これがこ  
 んにやく芋」と説明を受けてもキョトンとした表情。水に芋の粉  
 末を入れたら、一生懸命混ぜあわせ、重曹を加えて冷蔵庫で冷や  
 します。その間に、原木栽培で育ったシイタケのバーベキュー。  
 シイタケのホイル焼は絶品。「キノコは苦手」と言いながらも舌  
 鼓つづみ。できあがったこんにやくをお  
 土産に、向かうはヒルトン。こん  
 な早くにゴールかと思ったら、待  
 っていたのはサービング研修。ヒ  
 ルトンスタッフも受講するスペ  
 シヤル研修プログラム。プロのホ  
 テルマンから接客極意を伝授し  
 てもらい、仲間への最高のおもて  
 なしへと挑みます。働くって大変  
 だ。仲間のお腹を満たしたら、研  
 修受講の証として『修了証』が授  
 与されました。将来有望、小さな  
 ヒルトンスタッフの誕生です。



（This block contains the text from the previous block, which has been moved to a separate block for better readability. The text is already present in the main text area.)







18:00



### あれこれだからできる体験！ ヒルトンでのスパ&ディナー!!

それぞれのコースで過ごした1日のゴールは『ヒルトン小田原』。みんなでお風呂に入った後、準備が整ったら夕食会場へ。サービング研修のグループは、いよいよ成果発表。仲間が仲間を「お・も・て・な・し」する時間のスタートです。



家ではできない体験  
盛りだくさん。それが、  
あれこれ体験！



今日もたくさんがんばった。びつしよりとかいた汗は、広くてきれいなお風呂で流します。

今日の夕食は一流シェフの作ったカレーディナー。仲間がドリンクや料理を手際よく運んでくれます。

一生懸命に働く姿がかっこいい。最後は大きな拍手で称えます。

仲間の手形で囲まれた世界に一つしかない、このメンバーでしか作れない『Being』。みんながいたからがんばれた。

20:35

出し惜しみは無し！自分の考え、意見を書く！！  
ふりかえりタイム。



班のみんなと今日のあれこれあった1日をふりかえります。みんなで協力できたこと、活動してよかったこと、残念だったこと、もっとこうすればよかったこと。眠い目を擦りながら、さらにチームが良くなるためにと考え、『Being』に書き加えます。少しずつですが、子どもたちの成長が見て取れる大切な時間です。



22:45



1日の活動を通して  
指導者もふりかえりタイム。

子どもたちの就寝後、子どもたちのチームが良くなるために、さらにより良き明日となるようにと、毎夜指導者もふりかえりを行っています。この3日間は、指導者にとって実践研修の場でもあります。あれこれたくさんの実践経験をあれこれ重ね、指導者も指導者として、子どもたちと共に成長していきます。

data

7月27日、1回目のあれこれ体験、2日目の深夜。子どもたちが就寝する片浦地域に、迫る大きな積乱雲の情報が入りました。指導者はリアルタイムに情報収集しながら警戒態勢を維持。避難誘導の流れや、子どもたちのテントから持ち出すものなども、指導者間で確認や情報共有し、臨機応変に対応しています。



“Happy” フィールド

みんなと一緒に過ごしたフィールド  
旧片浦中学校の教室からはこんな景色が







まだまだあるよ、  
あれもこれももあるよ、  
最後まであれこれ！

3日目の朝、昨日までの  
疲れなのか、みんな朝まで  
ぐっすり…。あまりにもぐ  
つすりと眠ったから、寝ぼ  
け眼でキョロキョロと…。  
「(ハ)は(ハ)は(ハ)は」。  
「大丈夫。みんないるよ」。  
このフィールドで過ご  
す最後の朝は、静かに始ま  
りました。最後のプログラ  
ム、班のみんなで仕上げる  
『3日間』。あれもやった  
よ、これもやったよ、いつ  
ぱいやったよ、すごいでし  
よ、『あれこれ体験』!!



06:45

**みんなで過ごす最後の朝**

2泊3日の3日目の朝、今日が最終日です。もう帰るのか、やっと帰れる、まだ帰りたくない。いろいろな思いの3日目の朝です。今日も朝のつどいからスタート。今日も元気に活動しよう!!



**毎日が少しずつ違う  
それが“Happy”!!**

05:07

同じような日の出だけど、全てが同じじゃない。その時その瞬間の全てが宝物。みんなと一緒に迎えた朝はと一つでも“Happy”!!



09:10

**お世話になったフィールドに  
ありがとう!**



3日間お世話になった施設の清掃です。班ごとに責任もって担当します。一人では時間がかかりますが、チームワークよく、みんなでやればあっという間にピカピカです。



07:50

**牛乳パックで  
アツアツ!!**

牛乳パック??って思ってたでしょ。持ってきた牛乳パックの出番です。ちょっとしたひと工夫でアツアツの朝食のできあがり。サバイバルクッキングの体験です。



**data**  
ホットロールパンにキャベツとフルーツを挟み、お好みでチーズをトッピング。それをホイルで包んで、牛乳パックに入れて火を点けます。燃え尽きると、香ばしく焼き上がったカートンドッグの完成です。





**10:15**



**3日間の総仕上げ！**

楽しかった3日間もうすぐ終わり。この3日間で過ごした様々なこと、たくさんの時間を班のみんなとふりかえり。班ごとにまとめた個性豊かなパネルを使って、「ぼくたちの班はね…」 「…、私たちすごいでしょ！」と発表します。



お家に帰るまでが **11:50**

「あれこれ体験」です！！

3日間の思い出が詰まった荷物を持って、根府川駅へと向かいます。片浦の海も空も「またおいで」と言っているような澄み渡った夏の色でした。



**11:20**

**仲間と一緒に最後の時間！**

みんなで活動するのは閉会式のここまで。連絡先を交換したり、住所を聞いて手紙を書く約束をしたり、指導者の名札を記念にもらったり…。最後は子どもたちから一緒に活動した指導者に「ありがとう」をくれました。

**11:45**

**みんな、またねっ！！**

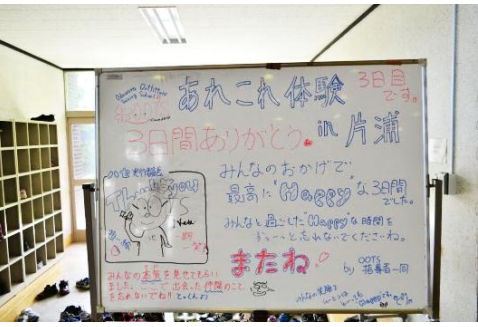
子どもたちが見えなくなるまで手を振り続けました。「さよなら」は言いません。もしも小田原のどこかで出会ったら、遠慮しないで『キャンプネーム』で呼んでね。



みんなと過ごした  
Happyな時間を  
ずっと忘れないでね！

出会った仲間と過ごした3日間、いかがでしたか。あれもこれも数えきれない体験で得たものが、この夏のたくさんの思い出が、これから訪れるたくさんの出会いの扉や、立ちほだかる壁の扉を、開くための『心の鍵』となることを願っています。3日間で見せてもらったみんなの「本気」、忘れません。ここで出会った「仲間」のことを忘れないでね。また会えるといいね！

指導者一同









あれこれ体験in片浦①

平成25年7月28日



あれこれ体験in片浦②

平成25年8月5日



# 参加者の思い出(参加者アンケートより抜粋)

◆ヒルトンでの研修はあまりできない体験だったから面白かったし勉強になった。就業体験もお仕事みたいで良い経験になった。

◆長く続く坂道が辛かった。でもそのあとのお風呂をすごく気持ち良いと思った。

◆騎馬戦!!

◆泳ぐ魚や蟹を泳いで見たこと。

◆ご飯美味しかった。

◆みんなで協力しているいろいろなことを乗り越えられたこと。

◆はだか馬に乗ったことは初めてだったので嬉しかった。

◆知らない友だちとたくさん交流ができ、仲良くなれたこと。

◆ホットドッグを作ったこと。

問：頑張ったことは何ですか？

- |                 |    |
|-----------------|----|
| 1：施設への移動・徒歩     | 14 |
| 2：サービング         | 9  |
| 3：キャンプファイヤー・スタツ | 8  |
| 4：テントそうじ・清掃     | 8  |
| 5：マスのつかみ取り      | 7  |
| 6：グループビルド       | 6  |
| 7：友だち作り         | 5  |
| 8：朝食作り          | 5  |

問：参加するまでの間、正直  
どういう気持ちでしたか？

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 1：わくわく・楽しみ      | 20 (48%) |
| 2：ちょっと緊張        | 13 (31%) |
| 3：すごく緊張         | 5 (12%)  |
| 4：不安            | 4 (9%)   |
| 5：できることなら行きたくない | 0 (0%)   |
| 6：その他           | 0 (0%)   |

◆友だちができたこと。

◆テントで初めて寝たこと。

◆キャンプファイヤーをしたこと。

◆ずっとこのままがよかった。

◆とにかくいっぱい!!

問：テント泊はどうでしたか？

- |                 |    |
|-----------------|----|
| 1：暑かった          | 18 |
| 2：楽しかった、おもしろかった | 18 |
| 3：広かった          | 11 |
| 4：よく眠れた、居心地良かった | 7  |
| 5：寝にくい、眠れなかった   | 6  |
| 6：虫が入ってきた       | 5  |

◆ブルーベリージャムを作って味もとにかく美味しく、試食用のパンも全部食べてしまったこと。自分達で取ったマスも美味しかった。

◆馬の世話をしたのは初めてだったので、貴重な体験ができたこと。流しラーメンも長くて面白かった。

◆初めは友だちができるか心配だったけど、夕方には仲良くなれた人ができたのでよかった。

# 指導者との思い出 (参加者アンケートより抜粋)

◆ヒルトンでのおしゃべり。

◆いっぱいありすぎる。

◆将来について話した。

◆キャンプファイヤーのスタツ。

◆いろいろ教えてくれた。

◆一緒に写真をたくさん撮った。

◆また来ようと思います。

◆協力して頑張ってきた。

◆お風呂で背中を拭いてあげた。

◆色々な相談や遊びをした。

◆坂道で背中を押してくれた。

◆騎馬戦でおんぶしてもらった。

◆いつもそばにいてくれた。

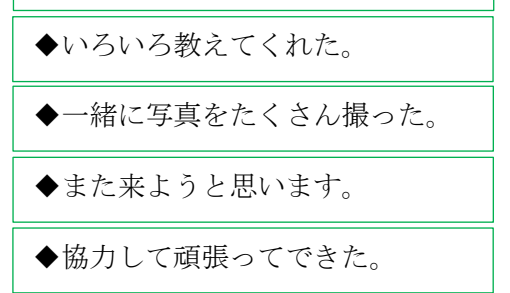
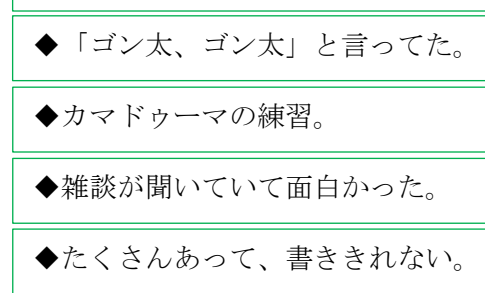
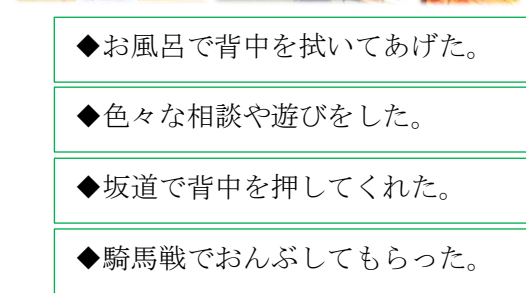
◆たくさん交流ができた。

◆「ゴン太、ゴン太」と言ってた。

◆カマドゥーマの練習。

◆雑談が聞いていて面白かった。

◆たくさんあって、書ききれない。



実施後のアンケートには、たくさんの方が寄せられております。その一部をご紹介します。

◆友達を誘ったりせず、一人だけで参加すると決めた時点で驚きましたし、**成長を感じました**。「行ってきたよ」と帰ってきてきて大きくなったなと思いました。

◆食事に対して、**興味を持つようになり**ました。

◆ヒルトンホテルに初めて行って喜んでいました。「小田原にあんな大きなホテルがあるんだね！**また行きたいな**」と話していました。

◆初めて出会う仲間たちと生活を共にすることはいいことも悪いことも様々なことを味わえるすばらしい機会だと思えます。帰ってきた我が子は**内面から充たされた良い姿**に感じました。このような企画はともあがりたく皆様へ感謝です。

◆親が口うるさく口出し手出ししない所で、**伸び伸びと新しい友達**と過ごしてきた様子がわかり、指導者さんとも色々話したり、お風呂で汗を流したりと、自主性や協調性や礼儀やルールなど、楽しく安全に過ごすにはどうすればいいのか、自然と体験できたのではないかと思います。

◆知らない子と一緒に一つ一つの目的のために力を合わせることはとても難しいが、貴重な体験だと思う。山や海でやったことのないことに出会えるのも素晴らしいことだと思えます。

### 問：「あれこれ体験 in 片浦」にお子様 が参加してみてもいかがでしたか？

1：非常によかった	39	(81%)
2：よかった	9	(19%)
3：普通	0	(0%)
4：あまりよくなかった	0	(0%)
5：よくなかった	0	(0%)

◆ここ最近「面倒くさい」とよく言うので参加前もブツブツと言っていました。帰ってきたら「**面白かった!**」でした。たくさん知らないお友達や大人の中で話をしたり、コミュニケーションがとれていたようなので少し成長したかなと思えます。

◆親から離れ生活することに**親自身がとても不安**でしたが、帰ってきた早々に来年も行きたい！という言葉にとっても安心し、感動したと共に、ホッとしました。一回り成長できたキャンプでした。

### 問：今年も昨年に続き、2回実施とし、 選択できるようにしましたが いかがでしたか？

1：時期を選んでよかった	45	(96%)
2：選択できなくてもいい	0	(0%)
3：1回実施でいい	0	(0%)
4：もっと選べるといい	1	(2%)
5：その他	1	(2%)

◆天候が悪くなり、テントから体育館への移動は適切な判断だったと思えます。来年も参加したいと言っております。暑さの中この企画に携わった方々に感謝の気持ちでいっぱい。本場にお世話になりました。**初めて小田原市民でよかった**と思えました。

◆横に広い小田原市で自分たちの住む市内の一部しか知ることが普段はできないけれど、こうした機会でもまた違った市内の様子を肌で感じられてとてもすばらしいと思っています。農業・漁業・製造業・サービス業と体験できて、その**上遊びながら考えていけるのは**本当にありがたいです。とても楽しかったみたいです。

◆前はやる前から「できない」ということが多かったのですが、今は「**やってみようかな**」と言うようになりました。

◆一人っ子なので、全く知らない人の中でどう行動していったらいいのかを考える機会になればと思っていたので、**参加させてよかった**です。あえて「大変なこと・つらいこと」をさせるといふのは親だけでは体験させられないので、このようなチャンスを頂けて感謝しています。

◆2度目の参加になります。学校生活最後の年に楽しい思い出が出来たと思えます。中学校へ行って、この経験をバネに色々なことを乗り越えて行ってほしいと思います。**何年後かには逆に、指導する側**になってほしいなと思っております。

### ヒルトン小田原リゾート&スパ

電話:0465-29-1000

住所:根府川583-1

<サービング体験>

<入浴>

<夕食:ヒルトンディナー>



### 旧片浦中学校

電話:0465-29-0134

住所:根府川41

<活動拠点>

<宿泊:テント泊>



### なみのこ村

電話:0465-29-0841

住所:根府川161

<昼食:バーベキュー>



### 根府川ダイビングセンター

電話:0465-29-0929

住所:根府川161

<シュノーケリング体験>



## おでかけMAP 片浦・小田原 "Odekake"MAP→Kataura, Odawara

### きのこ苑お山のたいしょう

電話:0465-29-1393

住所:根府川657

<こんにゃく作り体験>

<ブルーベリージャム作り体験>

<昼食:バーベキュー>



### 広石農園

電話:0465-22-8606

住所:根府川389

<ブルーベリー摘み取り体験>



### 白糸マス釣りセンター

電話:0465-29-0769

住所:根府川483

<マスのつかみ取り体験>

<昼食:バーベキュー>



### サドルバック

電話:0465-29-0830

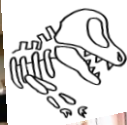
住所:江之浦415

<乗馬体験一式>

<昼食:流しラーメン>



「あれこれ体験 in 片浦」にご協力いただいた施設です。ご家族でも楽しめるプログラムもありますので、ぜひおでかけください。



一人でも多くの子どもたちに体験学習を！

指導者養成研修事業

おだわら自然楽校 (Odawara Outfitters Training School)

小田原市では、地域や学校における体験学習、或いは子どもたちの居場所づくりなどといった青少年育成事業に積極的に参画できる指導者を養成するための研修事業「おだわら自然楽校 (OOTS)」を平成 22 年度にスタートしました。

研修では、コミュニケーション能力やチームワークの活性化スキル、野外炊事やキャンプファイヤー等のキャンプスキルやアウトドアスキル、子どもたちの安全管理 (リスクマネジメント)、様々な体験学習プログラムなど、幅広い年代の方がたくさんの知識と技術の習得を図っています。

小田原を愛する心と生きる力を育む！

地域・世代を超えた体験学習事業

あれこれ体験 in 片浦

「あれこれ体験 in 片浦」では「おだわら自然楽校 (OOTS)」で学んだ指導者の協力をいただき、実行委員会組織を立ち上げ、プログラムの企画から進行までを担っていただいています。地域を超え参加した子どもたちは、指導者との世代を超えた触れ合いの中で、多くの事を学び、たくさんの思い出を作り、生きる力を育てています。

子どもたちが健やかに、そして力強く成長していくことを願い、学校や地域などが行う体験学習へのサポートをこれからも続けていきます。青少年育成や体験学習活動に興味のある方は、「おだわら自然楽校 (OOTS)」にご参加ください。指導者として一緒に活動していきましょう。

おだわら自然楽校

ウェブ検索

あれこれ体験 in 片浦

Presented by 地域・世代を超えた体験学習実行委員会

@小田原市子ども青少年部青少年課